

「やさしい草木染め」



〈第1日目: 7月8日(土)〉

主催事業「やさしい草木染め」を開催しました。日下田藍染工房の日下田 正氏、今井 久子氏を講師としてお招きしました。県内の20名が参加しました。閉所に伴い、人気のある本講座も最終回となります。



【講話】

初日の午前中は、栃木県文化功労者でもある日下田正氏から草木染めや染色についての講話をいただきました。基礎的な知識を学んでからの実習という流れは、参加者の学びを深めることにつながったのではないのでしょうか。



【実習】

いよいよ午後からは、実習となります。藍の生葉染め、紅花染めを体験しました。藍の生葉は、当日の朝に摘んできたものを使用します。参加者が好きなデザインのストールを選び、染色していきました。



【実習】

紅花染めは、熱湯に入れた紅花から薬品を使って染色液を抽出します。そこにハンカチを一定時間つけ込み、染色していきます。どんな色になるのか一番ドキドキする時間です。



染色が終わった参加者の作品です。ストール、ハンカチともここ数年で一番いい色に仕上がったと講師の日下田氏からお墨付きをいただきました。とても良い仕上がりがでした。



【講話・実習】

休憩をはさみ、2日目に行う藍染め体験で使用するシャツにデザインをしていく「絞り」について、今井久子氏から講話と絞りの手法について説明をしていただきました。



夕食後は、本格的に絞りの実習です。今井氏に聞いたり、参加者同士で教え合ったりしながら、熱心に取り組んでいました。



〈第2日目：7月9日（日）〉

日下田藍染工房に場所を移して、前日に準備したシャツに染色を施す「藍染め」体験を実施しました。あまり一般開放をしていない貴重な甕場をお借りしての実習となります。



【実習】

藍甕に絞りを施したシャツを浸していきます。泡が立たないように丁寧に作業することが大切です。

染色、脱水、染色を繰り返していき、深い藍色に染め上げていきます。



染めが終わったら、絞りの糸外しです。自分のイメージしたデザインがはっきりと出ているか心配している方もいらっしゃいました。

どの作品も、夏空にも映え、すばらしい仕上がりとなりました。



講師の先生、染めの指導をしてくれた小島さん、そして素敵な作品とともに記念写真を撮りました。
参加者の皆様、2日間お疲れ様でした。

これまで、「やさしい草木染め」に参加いただいた方々にも感謝申し上げます。